

事務所概要

事務所名	LPS (Laboratory Program Support) コンサルティング事務所
代表	田村弘志 (Hiroshi TAMURA, Ph.D.)
所在地/連絡先	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-7-13 モアエミネンス西新宿 104 TEL : 03-6383-3919 FAX: 03-6383-3928
設立年月	2013年 2月
URL	http://www.lpsct.com

Senior Executive Advisor (特別顧問)

研究・医療 長岡 功

順天堂大学大学院医学研究科 教授, グルコサミン研究会会長, 日本細菌学会理事, International Endotoxin and Innate Immunity Society (IEIS) 代表理事, 日本エンドトキシン自然免疫研究会理事, キチン・キトサン学会理事 (前副会長), 日本生化学会評議員

企画・開発 川口 竜二

株式会社プロップジーン代表取締役 CEO, Health Care Technology Foundation (HECTEF) 理事, 元早稲田大学 先端科学・健康医療融合研究機構 (ASMeW) 戦略マネジメントセンター 教授, 群馬パース大学 客員教授 (2013.4 より), 日本遺伝子診療学会評議員

経営・知財 五丁 龍志

TechnoProducer 株式会社 取締役, 大阪工業大学・知的財産学部 准教授, 上海光華特許事務所 駐日主席代表, 弁理士

代表者プロフィール

1976年に東北大学農学部食糧化学科(現 生命素子機能分野)を卒業後、生化学工業株式会社に勤務。東京研究所において、感染症関連の体外診断薬の製品開発と臨床応用に取り組むとともに、抗菌ペプチド、βグルカン等のバイオ素材を用いた創薬探索と権利化を推進。その間、グラム陰性菌内毒素(エンドトキシン)の微量定量試薬類を世界に先駆け上市するとともに、局方試験法への取組、保険取組、米国マサチューセッツ州子会社への技術移転、真菌感染症診断薬のFDA認可取得支援等の

技術責任者として尽力。1997年に埼玉大学理工学研究科の博士号(Ph.D.)を取得。数多くの特許、論文(URL参照)、自治医科大学等との共同研究、製品開発を通じ、グローバル事業基盤の強化、拡大に貢献。2012年に同社を退職、現在に至るまで、順天堂大学大学院の非常勤講師、東京薬科大薬学部の客員研究員、バイオベンチャーの顧問等を務める。



サービス内容の概要

規格・試験法・レギュラトリーサイエンス

- ・3極 GMP 微生物試験・エンドトキシン試験
- ・無菌製造・品質管理等に関する専門的・実践的アドバイス

臨床研究・早期診断・モニタリング技術 (感染症・公衆衛生領域)

- ・重症感染症の基礎的・臨床的研究に関する総合的アドバイス
- ・感染症迅速診断用素材・新規センサーに関する研究開発支援
- ・環境微生物のモニタリング技術とその応用に関する研究開発支援

抗菌ペプチド・機能性素材

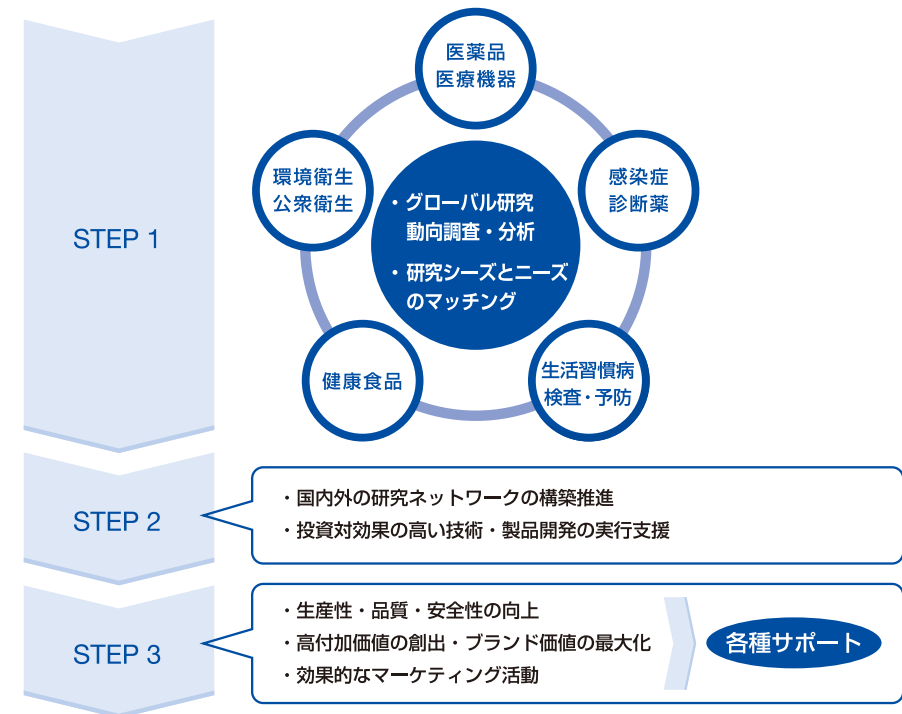
- ・抗菌ペプチド研究とその実用化に関する専門的アドバイス
- ・βグルカン、機能性食材を用いた研究開発支援

予防・疾病リスク低減

- ・疾病の予防と治療に有効な機能性食品の早期探索・開発支援
- ・体質遺伝子とリスクファクターの分析に関する専門的アドバイス

データベース構築 その他

- ・医薬・ライフサイエンス分野におけるデータベース制作支援
- ・各種セミナー・講習会の企画立案支援



サービスの流れ

1

弊社ホームページのお問い合わせフォームより必要事項をご記入の上でご相談ください。お問合せをいただいてから2営業日以内での返信を行っております。

2

お打ち合わせ、ヒアリングでの内容をもとに、お客様にとって最適なお提案をさせていただきます。サービスのお見積もりを原則5営業日以内に作成してメールにて返信させていただきます。

* お客様のご要望やニーズに合わせ、ご提案内容をアレンジいたします。内容を確認の上で必要に応じてご希望をお聞かせください。

3

ご提案とアレンジの内容が決まりましたら正式にご契約をさせていただき、サービスをスタートいたします。